

「カーボンコピー」

- ・ ところで本職のシステム関連の思い出を挟みましょう。僕が初めてシステム関連の資材に触れたのも小学校の頃でした。隣の映画館がたて変わる以前の事です。そうまだ大映系だった頃です。当時映画館の逆隣は区の関係施設(?)が在りました。映画館との境は万一の為の映画館の非常扉がありましたので、この辺りも僕の遊び場となっておりました。実はそこに在ったのです。ミシン目で長く繋がった黒い紙が……良く見ると何やら英語の様な模様が白く浮き出た黒い紙です。気が付くと僕の掌は黒く汚れていました。お気づきですね！ワнтаイムカーボン紙だったのです。
- ・ 遊び道具もろくすっぽ無い時代でしたから、とうぜん家に持帰り僕の宝物となりました。紙と紙の間に挟んで上から絵を画けば同じモノが下の紙に現れます。お袋に見せると早速得意の洋裁の型紙から生地へのヘラ取りに使って喜んでいました。ほんと、お袋の柔軟性にも何時も驚かされます。
- ・ 今から思うと、あれはFORTRANプログラムだった気がします。ぐしゃぐしゃにもされずきちっと置まれたカーボン紙でしたから、プログラマーの気質が偲ばれます。きっと優秀な方だったのではなかったでしょうか？でも、今だったら機密保護の為に大きな問題となっていたかも。今から半世紀以上前、そんなに昔からシステム屋は活躍していたなんて……想像つきますか？ でもこれも本当のお話です。